

## 2023年JAF地方サーキットトライアル選手権クラス区分等について

2023年日本サーキットトライアル選手権規定に基づき、2023年JAF地方サーキットトライアル選手権クラス区分等について、以下のとおりお知らせします。

### 1) 菅生サーキットトライアル選手権

#### 【クラス区分】

クラス	排気量と駆動方式
CT1	排気量制限無し・駆動制限無しのB車両
CT2	排気量制限無しの2輪駆動のB車両
CT3	自然吸気、排気量制限無しの2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT4	気筒容積2400cc以下の2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT5	気筒容積1600cc以下の2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT6	気筒容積1500cc以下の国産車メーカーのB車両
CT7	気筒容積1500cc以下の2輪駆動のPN車両のうち、FIA/JAF公認発効年またはJAF登録年が2012年1月1日以降の限定販売がされていないカタログモデルの車両
CT8	国産車メーカーの5ナンバーサイズのAE車両（ハイブリッド車両もしくはEV車両）
CT9	国産車メーカーのSUVタイプのAE車両（ハイブリッド車両もしくはEV車両）

※過給装置付エンジンはもとの排気量の1.7倍のクラスとみなし、ロータリーエンジンはもとの排気量の1.5倍のクラスとみなす。また性能調整として、NSXはCT2クラス、シビックタイプR（EK9/EP3/FD2/FN2）、インテグラタイプR、S2000、RX-8はCT3クラスにのみ参加を認める。

#### 【使用可能タイヤ】

純正装着以外で使用できるタイヤは、4本とも同銘柄（パターン）で、以下の最低条件を満たした、一般に国内で市販されているタイヤでなければならない。ただし、縦溝のみのタイヤや通称Sタイヤ（サーキット走行を主目的とするタイヤ）とオーガナイザーが判断した銘柄は直ちに使用禁止とする。

- ①単一コンパウンドかつ国内販売が20サイズ以上のラインナップを有すること。
- ②上記①を満たしたタイヤで、かつタイヤ接地面にタイヤを一周する連続した複数の縦溝を有していること。
- ③縦溝はトレッドウェアインジケータ（スリップサイン）が出るまで維持されていること。

※主に使用可能なタイヤ銘柄

メーカー	ブランド	主な使用可能なタイヤ名称
ブリヂストン	POTENZA	RE-71RS/S007A/Adrenalin RE004
横浜ゴム	ADVAN	NEOVAAD08R/Sport V105/FLEVA V701
住友ゴム工業	DIREZZA	ZIII/DZ102
	AZENIS	RT615K+
日本グッドイヤー	EAGLE	F1 SUPERSPORT/F1 ASYMMETRIC 3~5/F1 SPORTS
トーヨータイヤ	PROXES	R1R/TR1/Sports2/Sports
ミシュラン	PILOT	SPORT 4S/SUPER SPORT/SPORT 3~4
ピレリ	P ZERO	CORSA/CORSA SYSTEM
クムホ	ECSTA	V720/V700/PS91/PS71
ナンカン	Sportsnex	NS-2R/NS-2
ハンコック	Ventus	V12 evo2
フェデラル	595	RS-PRO
柴田自動車	SHIBATIRE	SHIBATIRE (TW180~)

#### 【車両最低重量】

参加車両の最低重量は下記の通りとする。

- ①CT1~6クラスは、当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧表の同一車両型式に認定されている車両重量-50kgとする。ただし、同一車両型式に過給器付（ターボチャージャー、ス

ーパーチャージャー等) と過給器無の両仕様が存在する場合は、各々に設定されている車両重量ー50 k gとする。

②CT7~9 クラスは、参加車両の最低重量は当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧表の同一車両型式に認定されている車両重量の内、最小値とする。ただし、同一車両型式に過給器付(ターボチャージャー、スーパーチャージャー等) と過給器無の両仕様が存在する場合は、各々に設定されている車両重量の最小値とする。

## 2) 筑波サーキットトライアル選手権

### 【クラス区分】

クラス	排気量と駆動方式
CT1	排気量制限無し・駆動制限無しのB車両
CT2	排気量制限無しの2輪駆動B車両
CT3	自然吸気、排気量制限無しの2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT4	気筒容積2400cc以下の2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT5	気筒容積1600cc以下の2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT6	気筒容積1500cc以下の国産車メーカーのB車両
CT7	気筒容積1500cc以下の2輪駆動のPN車両のうち、FIA/JAF公認発効年またはJAF登録年が2012年1月1日以降の限定販売されていないカタログモデルの車両
CT8	国産車メーカーのSUVタイプのAE車両（ハイブリッド車両もしくはEV車両）
CT9	国産車メーカーの軽自動車タイプのAE車両（ハイブリッド車両もしくはEV車両）

※過給装置付エンジンはもとの排気量の1.7倍のクラスとみなし、ロータリーエンジンはもとの排気量の1.5倍のクラスとみなす。また性能調整として、NSXはCT2クラス、シビックタイプR（EK9/EP3/FD2/FN2）、インテグラタイプR、S2000、RX-8はCT3クラスにのみ参加を認める。

### 【使用可能タイヤ】

純正装着以外で使用できるタイヤは、4本とも同銘柄（パターン）で、以下の最低条件を満たした、一般に国内で市販されているタイヤでなければならない。ただし、縦溝のみのタイヤや通称Sタイヤ（サーキット走行を主目的とするタイヤ）とオーガナイザーが判断した銘柄は直ちに使用禁止とする。

- ①単一コンパウンドかつ国内販売が20サイズ以上のラインナップを有すること。
- ②上記①を満たしたタイヤで、かつタイヤ接地面にタイヤを一周する連続した複数の縦溝を有していること。
- ③縦溝はトレッドウェアインジケータ（スリップサイン）が出るまで維持されていること。

※主に使用可能なタイヤ銘柄

メーカー	ブランド	主な使用可能なタイヤ名称
ブリヂストン	POTENZA	RE-71RS/S007A/Adrenalin RE004
横浜ゴム	ADVAN	NEOVAAD08R/Sport V105/FLEVA V701
住友ゴム工業	DIREZZA	ZIII/DZ102
	AZENIS	RT615K+
日本グッドイヤー	EAGLE	F1 SUPERSPORT/F1 ASYMMETRIC 3~5/F1 SPORT
トーヨータイヤ	PROXES	R1R/TR1/Sports2/Sports
ミシュラン	PILOT	SPORT 4S/SUPER SPORT/SPORT 3~5
ピレリ	P ZERO	CORSA/CORSA SYSTEM
クムホ	ECSTA	V720/V700/PS91/PS71
ナンカン	Sportsnex	NS-2R/NS-2
ハンコック	Ventus	V12 evo2
フェデラル	595	RS-PRO
柴田自動車	SHIBATIRE	SHIBATIRE (TW180~)

### 【車両最低重量】

参加車両の最低重量は下記の通りとする。

- ①CT1~6 クラスは、当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧表の同一車両型式に認定されている車両重量-50kgとする。ただし、同一車両型式に過給器付（ターボチャージャー、スーパーチャージャー等）と過給器無の両仕様が存在する場合は、各々に設定されている車両重量-50kgとする。
- ②CT7~9 クラスは、参加車両の最低重量は当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧

表の同一車両型式に認定されている車両重量の内、最小値とする。ただし、同一車両型式に過給器付（ターボチャージャー、スーパーチャージャー等）と過給器無の両仕様が存在する場合は、各々に設定されている車両重量の最小値とする。

以上

### 3) 岡山国際サーキットトライアル選手権

#### 【クラス区分】

クラス	参加車両
CT1	排気量制限無し・駆動制限無しのB車両
CT2	排気量制限無しの2輪駆動B車両
CT3	自然吸気、排気量制限無しの2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT4	気筒容積2400cc以下の2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT5	気筒容積1600cc以下の2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT6	気筒容積1500cc以下の国産車メーカーのB車両
CT7	気筒容積1500cc以下の2輪駆動のPN車両のうち、FIA/JAF公認発効年またはJAF登録年が2012年1月1日以降の限定販売されていないカタログモデルの車両
CT8	オートマチック限定免許で運転できる、国産車メーカーのSUVタイプのP・AE車両
CT9	オートマチック限定免許で運転できる、国産車メーカーの軽自動車タイプのP・AE車両

※過給装置付エンジンはもとの排気量の1.7倍のクラスとみなし、ロータリーエンジンはもとの排気量の1.5倍のクラスとみなす。また性能調整として、NSXはCT2クラス、シビックタイプR(EK9/EP3/FD2/FN2)、インテグラタイプR、S2000、RX-8はCT3クラスにのみ参加を認める。

#### 【使用可能タイヤ】

純正装着以外で使用できるタイヤは、4本とも同銘柄（パターン）で、以下の最低条件を満たした、一般に国内で市販されているタイヤでなければならない。ただし、縦溝のみのタイヤや通称Sタイヤ（サーキット走行を主目的とするタイヤ）とオーガナイザーが判断した銘柄は直ちに使用禁止とする。

- ①単一コンパウンドかつ国内販売が20サイズ以上のラインナップを有すること。
- ②上記①を満たしたタイヤで、かつタイヤ接地面にタイヤを一周する連続した複数の縦溝を有していること。
- ③縦溝はトレッドウェアインジケータ（スリップサイン）が出るまで維持されていること。

※主に使用可能なタイヤ銘柄

メーカー	ブランド	主な使用可能なタイヤ名称
ブリヂストン	POTENZA	RE-71RS/RE-71R/RE-11/RE-01R/RE-01/S007A/Adrenalin RE003~004
横浜ゴム	ADVAN	NEOVAAD08R/NEOVAAD09R/Sport V105~107/FLEVA V701
住友ゴム工業	DIREZZA	ZIII/DZ102
	AZENIS	RT615K+
日本グッドイヤー	EAGLE	F1 ASYMMETRIC 5/RS SPORT S-SPEC/REVSPEC RS-02/F1 SUPERSPORTS
トーヨータイヤ	PROXES	R1R/Sports
ミシュラン	PILOT	SPORT 4S/SUPER SPORT/SPORT 3~4/SPORT PS2
ピレリ	P ZERO	CORSA
クムホ	ECSTA	V720/V700/PS91/PS71/LE Sport
ナンカン	Sportsnex	NS-2R/NS-2
ハンコック	Ventus	RS4 Z232/V12 evo2 K120
フェデラル	595	EVOLUZIONE ST-1
MASA	ATR	SPORT2/SPORT
EPTYRES	Accelera	651SPORT (TREADWEAR200~)
柴田自動車	SHIBATIRE	SHIBATIRE (TW180~)

#### 【車両最低重量】

参加車両の最低重量は下記の通りとする。

- ①CT1~6 クラスは、当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧表の同一車両型式に認

定されている車両重量－50kgとする。ただし、同一車両型式に過給器付（ターボチャージャー、スーパーチャージャー等）と過給器無の両仕様が存在する場合は、各々に設定されている車両重量－50kgとする。

②CT7～9 クラスは、参加車両の最低重量は当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧表の同一車両型式に認定されている車両重量の内、最小値とする。ただし、同一車両型式に過給器付（ターボチャージャー、スーパーチャージャー等）と過給器無の両仕様が存在する場合は、各々に設定されている車両重量の最小値とする。

以上